

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

上場会社名 株式会社ヤマザキ 上場取引所 東
 コード番号 6147 URL <https://www.yamazaki-iron.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 好和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 大杉 幸弘 (TEL) 053-434-3011
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,753	18.7	△170	—	△162	—	△80	—
2021年3月期第3四半期	1,477	△32.1	△374	—	△372	—	△380	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 △57百万円(—%) 2021年3月期第3四半期 △319百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△18.13	—
2021年3月期第3四半期	△85.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	3,986	1,650	41.4	372.02
2021年3月期	4,093	1,774	43.4	399.96

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 1,650百万円 2021年3月期 1,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年3月期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,350	1.4	△210	—	△200	—	△120	—	△27.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	4,579,000株	2021年3月期	4,579,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	141,749株	2021年3月期	141,718株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	4,437,255株	2021年3月期3Q	4,437,282株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、ワクチン接種率の普及や海外経済の回復もあり、緩やかな持ち直しの動きが見られました。

然しながら、新たな変異株による感染拡大の影響により、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループおきましては、輸送用機器の販売回復や製造業の設備投資の持ち直しにより、当第3四半期累計期間における売上高は17億5千3百万円(前年同期比18.7%増)となりました。利益面につきましては、回復基調にはあるものの、本格的な回復には至らず販売が低調だったことに加え、半導体不足により代替品を手配したことによるコストアップ等の発生により、営業損失は1億7千万円(前年同期は営業損失3億7千4百万円)、経常損失は1億6千2百万円(前年同期は経常損失3億7千2百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は、政策保有株式の売却による投資有価証券売却益8千3百万円を計上したことにより、8千万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億8千万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、39億8千6百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億6百万円の減少となりました。

流動資産は、20億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して6千4百万円の減少となりました。これは主に、仕掛品が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものです。

固定資産は、19億8千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して4千1百万円の減少となりました。これは主に、投資その他の資産が減少したこと等によるものです。

(負債)

流動負債は、18億円となり、前連結会計年度末と比較して3千2百万円の増加となりました。これは主に、受注損失引当金及び賞与引当金が減少したものの、流動負債のその他が増加したこと等によるものです。

固定負債は、5億3千5百万円となり、前連結会計年度末と比較して1千4百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金が減少したこと等によるものです。

(純資産)

純資産合計は、16億5千万円となり、前連結会計年度末と比較して1億2千4百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金及び資本剰余金が減少したこと等によるものです。

自己資本比率は、前連結会計年度末の43.4%から41.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	780,711	711,904
受取手形及び売掛金	590,955	334,204
電子記録債権	240,409	192,135
製品	32,493	38,984
仕掛品	284,488	482,412
原材料及び貯蔵品	76,481	81,051
その他	61,601	161,881
流動資産合計	2,067,142	2,002,574
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	266,936	253,796
土地	779,910	779,910
その他(純額)	240,179	273,818
有形固定資産合計	1,287,025	1,307,525
無形固定資産	51,449	52,967
投資その他の資産		
投資有価証券	568,919	512,880
その他	134,867	127,041
貸倒引当金	△16,268	△16,268
投資その他の資産合計	687,518	623,653
固定資産合計	2,025,993	1,984,145
資産合計	4,093,135	3,986,719
負債の部		
流動負債		
買掛金	127,317	114,817
短期借入金	1,463,708	1,483,787
未払法人税等	2,719	15,543
賞与引当金	51,728	25,315
受注損失引当金	28,941	-
その他	93,608	160,696
流動負債合計	1,768,022	1,800,160
固定負債		
長期借入金	263,419	243,322
退職給付に係る負債	182,853	175,933
役員退職慰労引当金	13,905	25,269
その他	90,185	91,290
固定負債合計	550,363	535,815
負債合計	2,318,385	2,335,975

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	972,195	972,195
資本剰余金	819,760	753,201
利益剰余金	31,047	△49,401
自己株式	△85,038	△85,053
株主資本合計	1,737,964	1,590,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157,433	148,660
為替換算調整勘定	△120,648	△88,856
その他の包括利益累計額合計	36,785	59,803
純資産合計	1,774,750	1,650,744
負債純資産合計	4,093,135	3,986,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	1,477,173	1,753,658
売上原価	1,292,973	1,431,536
売上総利益	184,200	322,121
販売費及び一般管理費	558,887	492,342
営業損失(△)	△374,686	△170,221
営業外収益		
受取利息	8,481	7,320
受取配当金	5,178	6,144
その他	4,707	4,629
営業外収益合計	18,367	18,094
営業外費用		
支払利息	11,822	10,503
為替差損	2,929	-
その他	1,490	-
営業外費用合計	16,243	10,503
経常損失(△)	△372,563	△162,630
特別利益		
固定資産売却益	172	-
投資有価証券売却益	-	83,662
特別利益合計	172	83,662
特別損失		
固定資産除却損	999	7
特別損失合計	999	7
税金等調整前四半期純損失(△)	△373,390	△78,975
法人税、住民税及び事業税	5,284	△1,116
法人税等調整額	1,964	2,590
法人税等合計	7,248	1,474
四半期純損失(△)	△380,639	△80,449
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△380,639	△80,449

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△380,639	△80,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77,301	△8,773
為替換算調整勘定	△16,505	31,791
その他の包括利益合計	60,796	23,017
四半期包括利益	△319,843	△57,432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△319,843	△57,432

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。